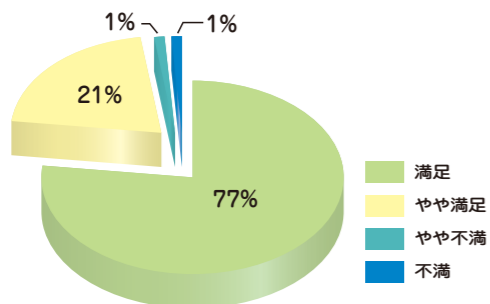


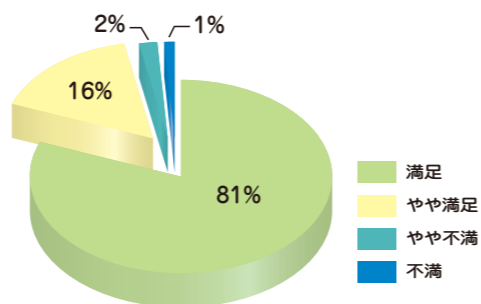
満足度調査結果のご報告

平成25年11月に患者さま満足度調査を実施しました。ご協力いただきましてありがとうございました。結果を真摯に受け止め、よりよい病院運営のために、より一層努力してまいります。

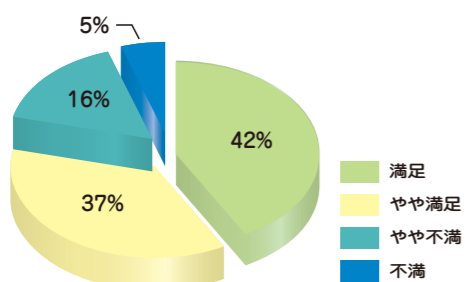
職員のあいさつは？



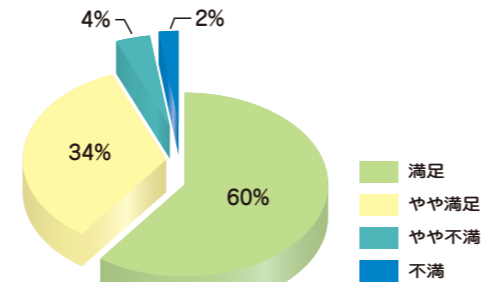
職員の説明は？



診察の済むまでの時間は？



院内全体の印象は？



防火訓練を実施しました

2月13日（木）に防火訓練を実施しました。院内で火災が発生したという想定で消防隊と連携をとりながら、初期対応と避難誘導の再確認をしました。訓練では、トランシーバーを用いることで、すみやかに行うことができました。



訓練は、毎年行っていますが、病院という24時間稼働している施設なので、参加者だけでなくスタッフ全員が同じ対応ができるようにしていきたいと考えています。

スプリングコンサートを開催します

当院では、年間3回のコンサートを開催しています。名誉院長を中心とした癒しの生演奏と職員によるフラダンスをぜひご覧ください。

【日時】 平成26年3月28日(金)
16:00~16:30



<写真は昨年のクリスマスコンサートの様子>

Facebookはじめました

当院をもっと身近に感じてもらえるように“Facebook”をはじめました。診療情報だけではなく、病院の様子やスタッフの紹介などリアルタイムの情報を発信していますのでぜひご覧ください。

高砂市民病院ニュース
第20号
平成26年3月

きぼう

基本理念 希望のある医療



〈院内保育園「ひまわり」〉

高砂市民病院で はたらくママを応援します。



4月から、当院待望の院内保育園「ひまわり」がオープンします。働く女性が安心して出産・子育てと仕事を両立していただけるようにと、生後8週間後から就学前までのお子さまを勤務時間に合わせて保育し、24時間オープンでサポートします。一時預かりもおこないます。

お子さまと一緒に出勤して、勤務後も一緒に帰宅できます。同じ敷地にあるため安心して預けることができます。ゆったりと清潔感のあるフロアで、お子さまが安心してのびのびと思いきり遊べる環境を整えています。

おゆうぎ会や発表会など、楽しいイベントもたくさん行っていく予定です。

<編集・発行>

高砂市民病院 広報誌編集委員会

〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号
TEL 079-442-3981(代表) Mail tact5510@city.takasago.hyogo.jp

新任医師を紹介します いつでも声をかけてください。

2月着任



ふかせ けいご
深瀬 圭吾 (外科)

神戸大学心臓外科から参りました深瀬圭吾です。産休に入った林先生のピンチヒッターとしてお世話になります。

外科医として消化器、呼吸器、心臓血管と一通り研修し、心臓血管外科を専門としております。よろしくお願いいたします。

3月着任



つきじ たかし
築地 崇 (麻酔科)

手術室で麻酔が主な仕事ですが、より安全で快適な麻酔が提供できるよう、術前・術後も手術を受けられる患者さまのサポートをしてまいります。麻酔に関するご質問などありましたら、お気軽にお尋ねください。

4月より整形外科の入院診療・手術を再開します。

現在、整形外科外来は3名の非常勤医師が診療を行っていますが、4月から常勤医師2名が着任します。これにより、入院診療・手術を再開いたします。今後も地域に密着した総合病院としての機能をより充実させ、患者さまに安全・安心な医療の提供に努めてまいります。

麻酔科外来 (ペインクリニック)

●ペインクリニックって何？

痛みを緩和するということは麻酔科の専門分野のひとつです。

手術後の痛みを緩和するだけでなく、痛みで困っておられる方のお話を聴き、痛みを緩和するのがペインクリニックです。

治療方法は、薬剤が中心になりますが、神経ブロックをおこなうこともあります。痛みが病気の症状である場合がありますので、その場合ただ痛みを止めればよいというわけではありません。原因をはっきりさせなければなりませんので検査や入院をおこなうこともあります。

痛みを我慢せず、ぜひご相談ください。

【診察日時】 毎週月・木・金曜日の午前中 (H26年4月から)

3月から気胸センターを開設しました。

気胸ってどんな病気？

普段通りの生活をしている中で肺が突然パンクし、しぼんでしまう病気のことを気胸といいます。多くの場合、肺の表面にブラと呼ばれる袋ができてしまい、不幸にも破裂してしまうことが原因です。気胸には、もともと肺に病気がない若い方に発症する**原発性自然気胸**や、比較的高齢の方では肺気腫などがベースとなり発症する**続発性自然気胸**等があります。

放置するとどんどん息苦しくなり、更に進行すると呼吸ができなくなる場合があります。生命の危険もあるため多くの人は治療が必要となります。

当センターの特徴

原発性、続発性を総称して一般に自然気胸といわれ、呼吸器外科を専門としない一般外科などでも時に扱われる疾患です。しかしながら若い方の原発性自然気胸は受験、進学、就職など人生の節目に発症してしまう方も多いため、経験の多い専門施設での加療が必要だと考えています。また続発性自然気胸においては原発性自然気胸と比べてブラが多発していることも少なくありません。これらをどこまで処置するかも専門施設でなければ、なかなか判断が難しいところです。さらに糖尿病など様々な問題点をお持ちの方も少なくないため、治療に難渋することもあり治療経験が問われます。手術後の痛みに関しては麻酔科の協力も得て緩和に努めています。全体の3割の方が術後2日目に退院しています。

これまで治療歴のある方もお気軽にご相談ください。

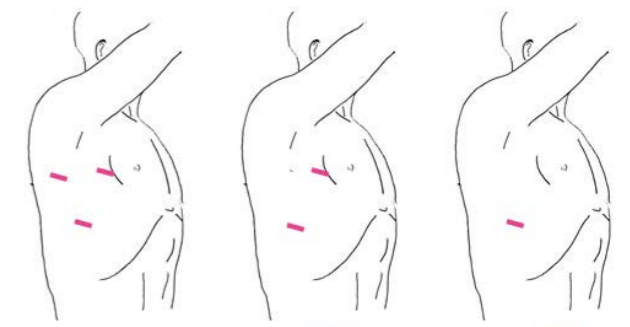
TEL : 079-442-3981 (代表番号です。呼吸器外科までお願いいたします。)

治療実績および状況

- 2013年の気胸手術症例 (ドレーンと呼ばれる管を胸に入れるだけの治療は除きます) は68症例 (70側) あり、全国7位の症例数です。
- 当センターには、呼吸器外科専門医が2名在籍しています。



〈モニター画面をみながらの手術の様子〉



他院では一般的な3孔式

2孔式

単孔式

〈当センターでは主に単孔式と3孔式を採用しています〉